

THE UNIVERSITY OF SHIMANE

令和元年度

公立大学法人島根県立大学

# 地域連携活動報告書

浜田キャンパス版

2019.4 ▶ 2020.3



公立大学法人 島根県立大学

## 浜田キャンパス：地域連携活動概要

地域連携推進センター副センター長 西藤 真一

令和元年度の浜田キャンパスの取り組みはおもに、①学生教育、②研究、③社会貢献の3つの柱で取り組んでまいりました。まず教育関係ですが、本学では平成28年度から「しまね地域マイスター認定制度」の根幹となる科目が本格的に開講されています。認定制度を通して本学では地域に精通し、熱意をもって課題解決にあたることのできる人材を「しまね地域マイスター」と称する独自の称号を授与することにしてしています。今年度は2期生が卒業し、いよいよカリキュラムとして定着してきました。

他方、浜田キャンパスの「しまね地域マイスター」の制度の運用をめぐっては、学生にそのメリットについての理解が十分浸透していないという課題がありました。マイスターは確かにインテンシブな指導を行います、その反面、一般の学生では経験できないような高度な調査研究、およびそれを通じた社会人との交流など、社会で必ず役立つコミュニケーション・スキルを体得できるというメリットもあります。メリットを最大限、引き出すべく、簡素化すべき事務手続きは大幅に簡素化し、本来の活動に十分な時間を充てられるよう、制度を若干改めました。

また、研究面でも地域が抱える課題に対して、教員の専門的な知見を活かした研究活動が数多く実施されました。ローカル地域にはデータそのものが存在しないことも多いですが、データの収集から地域と連携して取り組み、分析を経た政策提言を行う研究は、ますます必要とされてくるでしょう。これは研究を通じた社会貢献の側面もあり、引き続き研究力の向上に努めてまいります。

そのほかの社会貢献分野として、引き続き「3キャンパス合同学生ボランティア交流会」が計画どおりに実施され、学生主導で安定的に運営がなされています。各キャンパスの専門分野や地域性を考慮したテーマが選択され、毎年特徴的なボランティア内容が企画、実践されています。

新たな元号「令和」の時代が幕を開け、もはや「平成時代」は歴史の授業で学ぶひとつの時代となりつつあります。令和の新時代、迫りくる超高齢社会を前に、当キャンパスの地域連携活動はますます地に足の着いた活動を展開してまいります。学生自身が地域との関係から主体的に学べる環境を整え、教員もよりいっそう研究を蓄積し、社会に発信してまいります。今後ともご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

**令和元年度 公立大学法人島根県立大学  
地域連携推進センター浜田キャンパス運営会議 名簿**

(任期：平成 31. 4. 1～令和 2. 3. 31)

職 名	氏 名	備 考
准教授	西藤 真一	・地域連携推進センター副センター長 ・連携企画検討会
教授	八田 典子	・委員(情報発信検討会)
准教授	齋藤 暁子	・委員(連携企画検討会)
准教授	李 憲	・委員(教育支援検討会)
准教授	村井 重樹	・委員(教育支援検討会)
教授	林 秀司	・アドバイザー
地域連携課 課長	河部 安男	・委員
地域連携課 主任主事	福間 裕介	
地域連携課 主任主事	笹井 瞳	
地域連携課 主事	渡邊 真優	

# 目次

はじめに .....	1
令和元年度 公立大学法人島根県立大学	
地域連携推進センター浜田キャンパス運営会議 名簿 .....	2
<b>1 学生の地域貢献活動</b>	
1) 学生ボランティア活動（災害ボランティア以外） .....	4
2) ボランティア・ポイント抽選会 .....	8
<b>2 地域に関する教育・研究活動</b>	
1) しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会 .....	9
2) 山陰地域フィールド体験学習 .....	11
3) フレッシュマン・フィールド・セミナー .....	12
4) 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会 と島根県立大学の共同研究発表会 .....	17
<b>3 地域から／地域への応援・情報発信</b>	
1) 公開講座 .....	18
2) 大学生による小中学校学習支援事業の取り組み .....	23
3) 浜田市立中学校キャリア学習講師 .....	26
4) 中学生の島根県立大学訪問 .....	28
5) はまだ灯 2019 .....	30
6) MAKE DREAM 2019 .....	31
7) 高大連携の取り組み .....	32
8) NEAR センター市民研究員制度 .....	34
9) 講演会講師等・審査会委員等 .....	37

## 1) 学生の地域貢献活動

### (1) 学生ボランティア活動（災害ボランティア以外）

---

学生の地域貢献活動のひとつとして地域でのボランティア活動に従事しています。以下活動に参加した学生からの感想や活動の様子の写真を紹介し、さらに今年度のボランティア活動の一覧を付します。

#### <2019.6.23> コスモ アースコンシャスアクトクリーンキャンペーン in 石見

---

エフエム山陰さん主催のコスモアースコンシャスアクトクリーンキャンペーンに島根県立大学よさこい橙蘭のメンバーとして参加させていただきました。まず海洋館アクアス前でパーソナリティの水木さん、稲田さんから今回のイベントの説明を受けました。ラジオ番組さながらに場を盛り上げてくださり、参加者の私たちもやる気満々で海岸に移動しました。老若男女様々な人が参加していて、参加人数の多さに驚きました。一見綺麗に見える浜辺にもたくさんのゴミが落ちており、その量よりもそれらの中に英語や韓国語表記のゴミがあったことに1番衝撃を受けました。捨てられたゴミが自然に還ることなく海を漂い続け、環境を汚染するという事実を実際に目にしたことで環境問題について改めて考えさせられました。その後は参加者全員でバケツリレーでゴミを運びました。清掃の後はステージに移動し、何曲か演舞させていただきました。お客さんにも踊りに参加していただき、楽しく演舞することができました。また、アクアス館内に無料でご招待いただきました。今回のような清掃活動に参加したのは初めてでしたが、この1つの経験から環境問題などの大きな課題にみんなで取り組むことの大切さなどを学べたことは本当に貴重でした。今後もこのようなイベントに積極的に参加したいと思います。

(1年生 村上麻文)



ボランティア活動の一覧

依頼団体	活動日	活動内容	活動場所	参加人数
浜田市役所	4/13-4	浜田探索ツアー 添乗	浜田市内 各所	各日 3 名
島根県赤十字血液センター	4/17	献血呼び込み	学内	1 名
浜田警察署	4/18	中学校情報モラル教室	浜田第一中学校	2 名
長沢町内自治協議会	4/28	御神輿担ぎ	長沢町内	2 名
浜田市観光協会	4/29	浜っ子祭り運営サポート	浜田市内	10 名
浜田商工会議所	4/29	浜っ子春祭り大名行列 (腰元役)	浜田市内	4 名
浜田手づくり甲冑愛好会	4/29	浜っ子春祭り大名行列 (甲冑隊役)	浜田市内	6 名
(公財)しまね国際センター	5/4	グラントワマルシェでの ブース手伝い	グラントワ	2 名
NPO 法人浜田おやこ劇場	5/12	託児 (小学生)	いわみーる	2 名
浜田市社会福祉協議会	6/9	障がい者スポーツ大会	島根県立体育館	1 名
エフエム山陰	6/23	海岸清掃	波子海岸	44 名
子育て支援センター	7/6	すくすく♡子どもまつり	子育て支援センター	2 名
浜田港振興会	7/7.8/4	客船 (通訳・おもてなし)	JR 浜田駅・浜田港	延べ 26 名
島根県立少年自然の家	7/13-14	チャレンジ・ザ・サマー	少年自然の家	2 名
浜田市立石見公民館	7/28	いわみっ子まつり	石見公民館	6 名
鎌手児童クラブ	8/1	海の生き物観察	益田市北浜西海岸	3 名
株式会社 ISP	8/1-3	いわみ自然学校	石見海浜公園	11 名
浜田地区広域行政組合	8/1-3	浜田広域圏子ども交流事業	浜田市・江津市	11 名
島根県立少年自然の家	8/5-9	ジュニア・サマー・キャンプ	少年自然の家	2 名

かっぱランド夏祭り実行委員会	8/11	かっぱランド夏祭り	三隅町黒沢公民館周辺	2名
浜田市立白砂公民館	8/20	調理実習、刺し子手伝い	三隅小児童クラブ	2名
ひまわり号実行委員会	9/22	障がいのある方との列車の旅	浜田駅～東萩駅	1名
しまね国際センター	9/23	中国語絵本読み聞かせ等	浜田中央図書館	3名
NPO 法人浜田おやこ劇場	10/6	託児	いわみーる	3名
(公財)しまね国際センター	10/13-14	海遊祭国際センターブース	学内	延べ3名
島根県立少年自然の家	10/19-20	子ども探検隊	少年自然の家	5名
浜田医療センター	10/20	浜田駅北フェスタ	浜田医療センター	2名
島根県立少年自然の家	10/27	オープンデー	少年自然の家	5名
社会福祉法人いわみ福祉会	11/23	大収穫祭	桑の木園	5名
島根県立少年自然の家	11/30-12/1、 12/7-8	かわいい子には旅をさせよう	少年自然の家	8名 9名
NPO 法人浜田おやこ劇場	12/8	託児	いわみーる	1名
島根県立少年自然の家	1/11-13	ジュニアウィンターキャンプ	少年自然の家	2名
NPO 法人浜田おやこ劇場	2/2	託児	いわみーる	4名
島根県赤十字血液センター	2/12	献血呼び込み	学内	1名
石見公民館	3/29	いわみっこ祭り	石見公民館	4名

【通年ボランティア】

依頼者	期間	内容	場所
NPO 法人コアラッチ	7-8月	再生可能エネルギー教室	市内児童クラブ
てらこ屋	R1 年度	体操教室講師補助	雲雀丘小学校体育館
サポートステーション	R1 年度	スポーツ交流	いわみーる
日本語ボランティアグループいち・に・さん	R1 年度	日本語指導	中央図書館・石見公民館
浜田国際交流協会	R1 年度	日本語指導	浜田公民館
浜田公民館	R1 年度	HAMADA 留学 中高生の学習支援	浜田公民館
都野津町づくりコミュニティーセンター	R1 年度	あぷりこスクール 中高生の学習支援	都野津公民館
かなぎシェアハウス	R1 年度	かなぎ学習会 中学生の学習支援	浜田市役所金城支所
すぺーすひだまり	R1 年度	託児	子育て支援センター

【セミナー・研修】

主催者	日時	内容	場所
浜田養護学校	6/22	あいサポーター養成講座	浜田中央図書館
浜田養護学校	7/20	自閉症スペクトラムについて	浜田養護学校
浜田養護学校	9/7	肢体不自由教育について	浜田養護学校
江津市教育委員会	9/20	わくわくナビゲーター養成講座	江津高校
島根県社会福祉協議会	10/17-18	災ボラセンター運営者養成講座	浜田市総合福祉センター



## (2) ボランティア・ポイント抽選会

令和2年1月29日(水)、学生会館(カフェテリア)2階にてボランティア・ポイント抽選会を開催しました。この抽選はボランティア活動・地域貢献活動を1回すると抽選券が1枚付与され抽選を行います。

賞品は学外活動にも役立つ「旅行券」、浜田市内各所で利用できる「浜田市共通商品券」、石見地域の美味しいものをいただける「石見の選べるうまいもんセット」、浜田市での活動範囲を広げてくれる「石見交通バスカード」、浜田の魅力を体験できる「アクアス入場券」「乗馬体験チケット」「陶芸体験チケット」などの賞品が当選した学生に授与されました。



抽選会当日には、平成31年4月～令和元年12月までの9か月間で行ったボランティア活動回数の多かった学生に対し、上位者を表彰し、賞状と副賞を授与しました。上位者は以下の通りです。

1位	浦辺 太一 (2年生)	56回
2位	春若 美咲 (4年生)	48回
3位	三浦 颯太 (1年生)	38回
4位	梶 瑞希 (4年生)	34回
5位	常平 志織 (4年生)	21回



## 2) 地域に関する教育・研究活動

### (1) しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会

令和2年2月20日(木)に浜田キャンパスを会場にして開催された、令和元年度「KENDA I 縁結びフォーラム」の中のプログラムとして、「しまね地域マイスター論文完成後の研究発表会」が開催されました。今年度はマイスター課程2期生7名が卒業研究・論文に取り組み、このうち、最優秀賞に「中山間地域における「自助」「共助」に基づいた災害対策の検討～島根県大田市を事例として～」を研究した家迫秀和さん、浜田市長賞に「地域コミュニティに関わる学生の役割とその効果」を研究した津田智子さんが選ばれ、それぞれ清原正義学長と久保田章市市長から賞状と記念品が授与されました。

表彰式の後、マイスター課程2期生、2名が自ら得た知見と研究をしてきた内容について発表をしました。

なお、卒業研究・論文タイトルは以下のとおりです。

氏名 ※五十音順	研究テーマ
家迫 秀和	中山間地域における「自助」「共助」に基づいた災害対策の検討 ～島根県大田市を事例として～
遠藤 丈一郎	コミュニティサイクル導入における周辺地域への効果と実現可能性 ～島根県出雲市を事例として～
古志野 瑚都	町内会の電子化による地域コミュニティの活性化
角 昌彦	複合施設の課題と今後の可能性 ～出雲いりすの丘を事例として～
竹谷 栞	利用率の低いバス路線沿線住民の意識について
津田 智子	地域コミュニティに関わる学生の役割とその効果
藤原 和花	大田市の祭り「天領さん」を継承するために

《地域共生卒業研究表彰式》



〔学部生〕左から津田智子さん／家迫秀和さん



【浜田市長賞】津田智子さん



【最優秀賞】家迫秀和さん

《しまね地域マイスター論文完成後の研究発表》



## (2) 山陰地域フィールド体験学習

2019年度の「山陰地域フィールド体験学習」は、前年度に引き続き、浜田市金城町の夢の音村・森の公民館をおもな会場とし、9月9日(月)～12日(木)の日程で実施した。とり上げたテーマも、前年度同様であり、グリーン・ツーリズムと都市農村交流であった。本学総合政策学部の学生14名に加えて、成蹊大学の学生2名の参加を得ることができた。

1日めは、13時に本学浜田キャンパスに集合し、ただちに出発して現地に向かった。森の公民館においてオリエンテーションを実施し、15時からの対面式を経て、受講生たちは6軒の家庭に分宿させていただいた。

2日めは、9時に森の公民館に再集合し、午前中は、まず、公益財団法人ふるさと島根定住財団の山崎紀明さんにお越しいただき、しまね田舎ツーリズムについてお話しいただいた。その後、宿泊の体験について、全体で共有した。午後は、浜田市田橋町の株式会社扇原茶園を訪ねた。会長の佐々木玲慈さんに園内と茶室をご案内いただいたうえで、茶摘みと電子レンジを使った製茶体験をさせていただいた。

3日めの午前中は、浜田市弥栄町の三浦寿紀さんを杵束公民館に訪ね、お話をうかがった。佐々木さんと三浦さんを訪ねたのは、これまでさまざまな体験活動を提供してこられたので、そのご経験や背景にある思いなどを聞かせていただきたいと考えてのことであった。午後は、森の公民館に戻って、翌日の学習成果発表会の準備に着手した。バーベキューの夕食をはさんで、準備は日付が変わる前後まで続いたであろうか。

4日めは、10時から、森の公民館において学習成果発表会を開催した。その形式は、3～4人ずつの5つの班ごとに、1班あたり10分のもち時間で、PowerPointスライドを用いての口頭発表とした。SNSの活用ばかりが提案されたが、受講生たちの発表は、彼らなりに考え、悩みもしての結論であったことはまちがいないであろう。来場者からは質問や意見を頂戴し、議論を深めることができた。ほぼ予定通りの11時25分頃に終了し、帰学した。

このたびも、夢の音村・森の公民館のみなさま、受講生たちを受け入れてくださったご家庭のみなさまをはじめ、多くの地域のみなさまと関係者のみなさまにたいへんお世話になった。あつくお礼申し上げます。

(文責：林 秀司)



扇原茶園訪問のようす



学習成果発表会のようす

### (3) フレッシュマン・フィールド・セミナー

---

フレッシュマン・フィールド・セミナーは、社会のさまざまな現場（フィールド）に出かけていき、そこでフィールドにおられる人々への調査を通じて課題を発見し、課題の解決策を提案するセミナーである。入学初年次から地域のさまざまな人と接し、自らの学修目的を明確化することで、自らが望んだ職業に就く能力を学生に身につけさせることを目的としている。

このセミナーは、1) 事前学習、2) フィールド調査、3) 調査結果分析、4) 課題解決策の提案、5) 成果発表、の5つのプロセスで構成されている。各セミナーの実施回数にもよるが、概ね10～13回を教室で行い、島根県内・浜田市・近隣地域に出向いてのフィールド調査を2～5回ほど実施する。春学期に実施されるフレッシュマン・スキル・セミナーで学んだアカデミック・スキルを活用しながら、課題発見と課題解決能力を身につけ、2年次から始まる専門教育への橋渡しをするセミナーでもある。また、グループ学習を実施するセミナーの場合、受講生は少人数のグループを組み、協同作業による自発的で能動的な学びを実践する。

令和2年1月23日（木）には、このセミナーの最終プロセスである「フレッシュマン・フィールド・セミナー合同成果発表会」が開催された。はじめに大講義室2で、ゼミ単位で順番に1分間ずつの概要説明をおこなったのち、全15ゼミが各演習室に分かれて成果をポスターセッション形式で報告した。

来場者には評価シートを配付し、各ゼミのポスター等の掲出物、プレゼンテーション、研究の内容等について、3つのゼミに対する評価を記入していただいた。

この発表会には学生・教職員はもとより、取材・調査先関係、一般市民、報道関係の皆さんなどの来場もあった。

令和元年度 フレッシュマン・フィールド・セミナー 授業概要一覧

クラス	テーマ・概要等	フィールド
川中ゼミ	<p>&lt;授業の目的&gt; 視聴覚障がいに対する理解を深め、障がいを持つ方々とのコミュニケーションを実践し、社会の問題について考察する。できるだけ多くの体験学習を実施する。</p> <p>&lt;到達目標&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴覚障がいについて知る。</li> <li>・視聴覚障がいのある方の立場で支援を考えることができる。</li> <li>・視聴覚障がいのある方が直面している社会の問題について考察し、改善策を提言することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・島根県西部視聴覚障害者情報センター</li> </ul>
久保田ゼミ	<p>日本では、全企業の99%を中小企業が占め、全従業員の約70%が中小企業に勤務するなど、中小企業はわが国経済の活力の源泉であり、地域経済を支える大きな存在です。</p> <p>本ゼミナールでは、島根県を代表する中小企業である有限会社吉原木工所を調査対象として取り上げます。</p> <p>有限会社吉原木工所は、日本の伝統技術である和室の欄間に用いられる「組子」という伝統技術を、現代風のインテリアとして復活させ、リビング障子などの新製品を開発し、全国への販路開拓を実現しています。同社製品のデザイン性は高く評価されており、2013年には「グッドデザイン賞」を受賞しています。また海外からの評価も高く、北欧のデザイナーや中国、台湾などの商社との取引も開始するなど海外販路開拓も実現しています。こうした取組みが評価され、2019年には中国地域ニュービジネス大賞優秀賞を受賞しました。</p> <p>同社の工場は中山間地域に立地していますが、組子職人を志す若者から全国から集まり若い従業員が年々増加しています。また「しまね女性の活躍応援企業表彰」や「しまね働く女性きらめき大賞」に表彰されるなど女性活躍推進にも積極的です。</p> <p>本ゼミナールでは訪問先企業の取組を調査することを通じて、企業を調査するうえでの手法を学ぶとともに、企業の抱える課題やその解決策、企業の事業展開の取組みについて学ぶことを目的とします。</p> <p>本ゼミナールでは、調査対象企業の事業所の見学や関係者へのインタビューを通じて、同社の強みや課題、今後の方向性などを考察し、最終的にその成果を学内や企業の関係者に向けて発表します。</p> <p><b>【到達目標】</b> 事例研究を通して、地域企業が抱える課題を発見し、その解決策を考え、提案することができる。 他の学生と協調しながら調査、分析、レポートの作成ができる。 積極的に自分の意見を口頭で発表することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・吉原木工所</li> </ul>
鈴木ゼミ	<p>島根県は人口あたりでみた火災出火件数が他の都道府県と比べて非常に多い県です。直近5年間（2012年～2016年）のデータで見ると、全国でワースト5位に入るほど発生件数が多く、人口あたりの火災死傷者数についても毎年ではないもののワースト5位に入っています。お隣の鳥取県と比較してみても、直近5年間で見る限り鳥取県を上回っており、山陰地域のなかでも火災に対する安全性が低い県であることがわかります。</p> <p>これらの数値は県の平均値による比較ですから、島根県内の浜田市と松江市では火災に対する安全性は異なっていると考えられます。このような市町村間の比較を行うことでより詳細な安全性についての検討を行うことができるでしょう。</p> <p>地域の火災の発生件数や死傷者数は①地理的条件や住居形態といった地域特性、②消防本部・消防署による消防活動、③住民の火災に対する防災意識、など様々な要因によって影響を受けていると考えられます。①については統計データを使って検証が可能です。②については統計データによって把握できる内容もありますが、消防本部・消防署が具体的にどのような消防活動を行っているかは、実際に訪問して話を聞いてみなければわかりません。さらに③についても消防本部・消防署の方々にお話を伺ったり、住民の方々にアンケート調査を行ったりする必要があります。</p> <p>そこで、このゼミでは浜田市消防本部・浜田消防署に訪問し、具体的な活動内容についてのヒアリング調査を行うことで、島根県や浜田市の火災に対する安全性とどのような関係があるか、またこれからの課題は何</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田消防本部</li> <li>・浜田消防署</li> </ul>

	<p>であるかをゼミ生の皆さんと一緒に明らかにしていきたいと考えています。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・わかりやすく綺麗な掲示物が作成できる。</li> <li>・ゼミの時間や時間外活動において積極的に意見交換を行うことができる。</li> <li>・他のゼミ生や班のメンバーと協調・連携することができる。</li> </ul>	
田中ゼミ	<p>「島根県内企業のマーケティング戦略について」</p> <p>本演習では、島根県内の企業を中心とした事業者へのヒアリング調査を実施し、①対象企業の業務内容、経営課題、主力商品、重点戦略等を理解した後、②当該企業のマーケティング戦略（製品、価格、販売促進、流通）について、各企業が具体的にどのような戦略対応を行っているのかを事例調査を通じて明らかにする。本調査を通じて島根県内での企業におけるマーケティング戦略の現状や課題について理解し検討を行うことを目的とする。</p> <p>※調査はグループを基本に実施する。 ※本演習におけるフィールド調査は移動時間や活動時間をまとめて確保するため、場合によっては土 日・祝日も実施される可能性がある。</p> <p>【到達目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・フィールド調査にあたって事前に必要な資料を収集し、的確にまとめることができる。</li> <li>・対象企業の周辺環境を整理し、対象企業の有する課題を理解することができる。</li> <li>・調査方法（聞き取り、アンケート等）の基礎知識・手順を理解することができる。</li> <li>・調査の過程で自らの考えを説得的に表現することができる。</li> <li>・わかりやすい発表資料を作成し、口頭で説明できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ TC 浜田農場</li> </ul>
豊田ゼミ	<p>「道の駅」は、安全で快適に道路を利用するための道路交通環境の提供に加えて、地域のにぎわい創出を目的とした施設で、「地域とともに作る個性豊かなにぎわいの場」をコンセプトにして設計されています。交通拠点だけではなく、防災や国内外からの観光、福祉や情報発信など、地域の拠点としての機能が期待されています。「道の駅」は地域と密接に関わっているため、さまざま地域課題に直面する場でもあり、その解決に関われる場でもあります。このゼミでは、石見地方の「道の駅」を対象に、それぞれの道の駅が直面する課題を取り上げ、その解決策について実践的に取り組むことを目的としています。具体的には、地域統計データを用いて現状を可視化する能力を身につけること、アンケート調査を実施し結果を分析する能力を身につけること、課題解決に向けた取り組みを実行する能力を身につけることを目指します。「道の駅」に関わる国や地方政府、道の駅の関係者の方々と一緒に、実践的な能力を身につけることを目的としています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゆうひパーク 浜田</li> <li>・ ゆうひパーク 三隅</li> <li>・ シルクウェイ 日原</li> <li>・ 道の駅 津和野温泉</li> </ul>
林ゼミ	<p>地方小都市の郊外地域や農村地域において、地域がかかえる問題について、地域住民のみなさんの問題意識をうかがい、そのことに関して解決すべき課題を見だし、解決する方策を探索する。問題発見・課題解決の方法としては、聞き取り調査、アンケート調査、先進事例の調査などを用いる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 静間まちづくりセンター</li> </ul>
福原 佐藤 高 合同ゼミ	<p>今年度のフレッシュマン・フィールド・セミナー“北東アジア・国際関係”は、高一ゼミ、佐藤壮ゼミ・福原裕二ゼミの合同で実施する。ここでは、それぞれのゼミで行う指導内容や体様などの特徴を維持・尊重しつつ、「北東アジアで生きる：在日コリアンの体験と記憶／在日外国人との交流と共生」をテーマにした共通のフィールド体験・学び・調査を行うことにより、北東アジア地域研究、国際関係研究にまつわる初歩的な諸課題を発見し、これらについての関連知識を収集・整理して、課題の解決策を模索していくことを目的とする。なお、下欄の授業計画は、前年度の授業展開を基に記している。従って、フィールド調査先・内容について変更がなされる場合がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出雲市国際交流室</li> <li>・ 出雲市社会福祉センター日本語教室</li> <li>・ 都茂丸山銅山跡</li> <li>・ 千原取水堰堤</li> <li>・ 澄川発電所</li> </ul>

<p>藤原ゼミ</p>	<p>ヒアリング、アンケート調査に参加して、「放課後児童クラブの発展、充実の方向性を探る構想」をたててもらおう。</p> <p>島根県の子育て期の女性の労働参加率は全国一で、共働き世帯の比率も高い。これに対応して、浜田市では子育て支援センター、保育園等の充実とともに、最近では放課後児童クラブを低学年児から高学年児、また平日から土曜日まで拡大している。本研究は子育て支援サービスの新たな焦点となっている放課後児童クラブについてA. クラブに通う子供たち、母親、父親を対象に(1) 放課後児童クラブの利用実態と問題点をヒアリング、アンケートで探るとともに、(2) 生活・仕事時間調査を実施し、子育て世帯の親子の生活時間、リズム、子育てサービスニーズを把握し、平日、土曜日のサービスの改善点を探る。B. 日曜日に親子が集える、小学校区の枠を超えたワンストップの遊び・学びの拠点を大学に立ち上げる構想の論点整備を行い、大学と地域の連携のあり方を模索したい。</p> <p>本セミナーを通し、技術的にヒアリング、アンケート調査の一連の手法が身に着く。また子育て支援問題の喫緊課題を理解できる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周布小学校</li> <li>・国府小学校</li> <li>・石見小学校</li> </ul>
<p>光延ゼミ</p>	<p><b>【選挙の分析 (Electoral analysis) ——統一地方選挙と参議院選挙から学ぶ——】</b></p> <p>2019年には4月に統一地方選挙が、7月に参議院選挙が行われました。両選挙が同時に行われるのは12年に一度で、しかもこの年は干支(えと)の亥の年に当たることから「亥年選挙」として政治学ではよく知られています。二つの選挙は異なるレベルの選挙ですが、1年間の間に行われるため、特に後者の投票率は、他の選挙年と比較して下がるとされています。果たして、結果はどのようなであったのか。</p> <p>このクラスでは、①「政治学」の中でも、②「日本政治」の分野の、③「選挙分析」の領域を、4月に行われた統一地方選挙と7月の参議院選挙との二つの選挙を通じて、多角的に分析することを目指す旅に出ます。こうした調査や分析に興味のある諸君の受講を希望します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中国新聞社</li> <li>・山陰中央新報社</li> </ul>
<p>村山ゼミ</p>	<p><b>【テーマ：島根県西部地域の活性化】</b></p> <p>本演習では、島根県西部地域(石見地方)の特定地域(例えば、邑南町や江津市、大田市など)に焦点を当て、その地域の活性化問題に取り組む。具体的には、地域を活性化させるために、対象地域(地方自治体)でのヒアリングを実施し、その地域が求める「あるべき姿(To-Be)」と現在置かれている「現状の姿(As-Is)」を確認する。これにより、地域が抱える問題を明らかにし、地域活性化のための施策を検討する。</p> <p>(活性化策の例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光による活性化策</li> <li>・定住促進のための施策</li> <li>・地域交通問題に対する施策</li> <li>・高齢者問題に対する施策</li> </ul> <p><b>【フィールド調査の訪問予定先：今後調整予定】</b></p> <p><b>【到達目標】</b></p> <p>フィールド調査で課題抽出に必要な情報を収集することができる。    収集した情報をもとに現状分析し、課題を抽出することができる。    抽出した課題に対する解決策を立案することができる。    わかりやすい発表資料を作成することができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・江津市立 市山地域 コミュニティ交流センター</li> </ul>
<p>孟達来ゼミ</p>	<p>本セミナーのテーマは、「地方都市における言語景観、その背景・特徴・効果」である。「言語景観」とは、看板や施設・店舗名など公共空間で目にする書き言葉を指す。言語景観はコミュニケーション現象でありながら、街並みを印象付ける重要な要素でもある。また、言語景観の背景に社会や文化といった要因が関わっているのである。</p> <p>本セミナーでは、浜田市を事例として、街中の言語景観を調査し、言葉と文字の面だけでなく、その背景にある社会・文化と関連付けて考察を行い、その特徴と効果について検討する。また、言語景観の背景にある社会と文化の諸相を探求することを試みる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田駅周辺・銀天街</li> <li>・ゆめタウン浜田・片庭町・新町・紺屋町・朝日町</li> </ul>



<p>山本ゼミ</p>	<p>本演習のテーマは、「地域社会における世界宗教の役割：過去・現在・未来」である。一般的に「世界宗教」と呼ばれているのは、キリスト教、仏教、イスラム教、ヒンドゥー教、ユダヤ教、儒教、道教、神道、ゾロアスター教、ジャイナ教、シク教などの主要宗教である（「世界宗教」というカテゴリーそのものや宗教の区分に対する批判もあるが、ここではその点に立ち入らない）。宗教には普遍性への指向が見られる一方で、同時に人々の個人的な精神生活、社会生活とも密接に関わっている。本演習では世界宗教の施設や関係者を訪ねて調査し、これまで地域社会で宗教が果たしてきた役割、宗教の現状と課題、将来の展望について考察する。</p> <p>このゼミは渡辺圭先生のゼミと問題関心を共有しているので、最終的に成果をまとめる作業は共同で行う。渡辺ゼミが主にキリスト教関係の施設を訪問するのに対して、本ゼミは浜田市内にある仏教と神道に関連する施設の訪問を予定している。また可能であれば、広島県にあるイスラム教関連施設への訪問も行う。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な資料を集め、読み込み、的確に整理することができる。</li> <li>・集めた情報に基づいて、適切な問いを設定できる。</li> <li>・問題関心に基づいて調査計画を立て、それに沿って調査を実行できる。</li> <li>・調査した内容を簡潔にまとめ、論理的に説明できる。</li> <li>・他者と共同で課題を達成するため、自分の役割に責任を持ち、最後まで全うすることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広島イスラーム文化センター</li> </ul>
<p>渡辺ゼミ</p>	<p>本セミナーのテーマは、「地域社会における宗教の諸相」である。宗教を社会的な現象・活動として位置付け、地域社会におけるその役割をフィールド調査等によって考察していく。宗教共同体に内在する問題点・課題を抽出し、議論を行う。</p> <p>その作業は、①事前学習、②宗教施設のフィールド調査、③調査結果のフィードバック、④抽出した問題点・課題の解決策の提示、⑤成果の展示・発表というプロセスによって構成される。本学が位置する島根県浜田市には様々なかたちのコミュニティが存在するが、本セミナーがフィールド調査の対象とするのは浜田市内の宗教施設、キリスト教諸宗派の教会である。世界三大一神教の一つであるキリスト教は、アメリカの名前を挙げるまでもなく国際的な影響力を有しており、西欧の精神文化の基層をなしている。本セミナーの活動は、「それでは、キリスト教は浜田市においてどのような存在感を放っているのか？」という問いかけを出発点の一つとする。なお、同じく宗教をテーマにした山本准教授のセミナーとは、第2回、第11回、第14回において合同の作業・発表を行う。第2回に担当教員によって講義形式で行われる「宗教学特別講義」は、本セミナーと山本准教授のセミナーに共通する、宗教研究に必要な基礎的知識の提供を目的としている。</p> <p><b>【到達目標】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人にとっての問題意識と、セミナー全体の問題意識の双方を大切にすることができる。</li> <li>・調査のために必要な情報・資料を事前に収集し、適切な問題設定をすることができる。</li> <li>・調査対象の現状を考察し、そのフィールドにおける問題点・課題を理解することができる。</li> <li>・グループ内での自分の役割を自覚し、集団としての目標達成に貢献することができる。</li> <li>・効果的な展示・発表を行うことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜田キリスト教会</li> </ul>

(クラスは五十音順)

#### (4) 浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会と島根県立大学の共同研究成果報告会（令和2年2月20日開催）

---

令和2年2月20日（木）に浜田キャンパスを会場にして開催された、平成30年度KENDA I縁結びフォーラムの中のプログラムとして、浜田市と邑南町との「食」を通じた観光・文化交流協議会と島根県立大学の共同研究成果報告会がおこなわれました。

当日の会場には、市民の皆様や行政関係者など、多数のご参加がありました。

なお、研究テーマは以下のとおりです。

##### 《研究テーマ》

○特色ある浜田と邑南の食の提供：学生がつくる飲食店紹介冊子によるPR

島根県立大学 田中恭子 准教授（浜田キャンパス）



### 3) 地域から／地域への応援・情報発信

#### (1) 公開講座

浜田キャンパスでは、地域に開かれた大学として地域の方々の知的好奇心に応えるため、毎年度公開講座を開催しています。

令和元年度は23回の講座が開講され、延べ562名の受講者を得ました。前年度に比べて受講者数は増加しています（平成30年度：開講回数20回、延べ受講者数517人）。

最も受講者が多かった講座は、木村秀史先生による「ゼロからわかるアニメ経済入門」で、67名の参加がありました。次いで、丁清氏（浜田市国際交流員）による「中国のリアルな生活事情」に、45名の参加がありました。

受講者から回答いただいているアンケートの結果概要を、以下のとおり報告します。

表：令和元年度公開講座 受講者数一覧

No.	テーマ カテゴリ	講師	所属	講座名	実施日	受講者数
1	学校では教えてくれない 〇〇の世界	藤井 礼子	元・島根県西部県民センター地域振興課公民館連携スタッフ、やさか爺～婆～さん倶楽部事務局	やってみな わからんっ！ ～高齢者団体の6次産業化の取組みから考える、地域づくりを担う人づくり～	6月5日	34
2		鎌本 俊朗	浜田市教育委員会文化振興課市誌編集室専門員	浜田開府四百年目に見た近世浜田藩の歴史	6月26日	39
3		河野 文彰	森の公民館「夢の音村」村長	夢の続き 『音楽が都市農村交流の扉を開けた』	7月3日	20
4		陳 幼竹	島根県立大学北東アジア地域研究センター非常勤研究員	ひそかに身近な薬草	10月23日	13
5	浜田キャンパス 国際ターミナル ～優先搭乗のご案内～	ハキモヴァ リリヤ	島根県国際交流員	ロシアの日常～日本との違い・共通点	6月12日	36
6		于 清	浜田市国際交流員	中国のリアルな生活事情	6月19日	45
7		ジョアンナ テイクソン	浜田市国際交流員	ウェンディゴとスレンダーマン：都市伝説から知るアメリカの文化	10月2日	26
8		イ ジョンヒョン	島根県国際交流員	韓国に行ってみよう	12月4日	17
9		ドアントゥ クイン	浜田市国際交流員	私のふるさとはこんなところ	12月18日	25
10	聴いて得する！ 大学教員の “ちょっとココだけ” の話	小林 明子	島根県立大学浜田キャンパス	異文化理解の心理学	5月8日	20
11		張 忠任	島根県立大学浜田キャンパス	道教の倫理観と養生術	5月15日	17
12		松尾 哲也	島根県立大学浜田キャンパス	戦争と平和の政治哲学	9月25日	13
13		西藤 真一 松田 善臣	島根県立大学浜田キャンパス	どーなる！？島根の観光	10月2日	44
14		姜 英淑	島根県立大学浜田キャンパス	日本語の方言からみた韓国語の方言 一言韻論的アプローチ	10月9日	12

15		久保田 典男	島根県立大学浜田キャンパス	中小企業の人材確保	10月16日	12
16		金野 和弘	島根県立大学浜田キャンパス	シェアリングエコノミーって何だろう？	10月30日	13
17		木村 秀史	國學院大学経済学部准教授	ゼロからわかるアニメ経済入門 シーズン2	11月1日	67
18		石田 徹	島根県立大学浜田キャンパス	近世日朝関係の2つの使節 ：通信使と訳官使	11月13日	14
19	大学教員による「リレー 式」講座 〔アジアの環境問題をグ ローバルに考える〕	福原 裕二	島根県立大学浜田キャンパス	環境問題から見た北朝鮮の現在と対外開放の 可能性	11月20日	20
20		吉村 慎太郎	広島大学総合科学部 教授	イランの環境問題 ：日本との比較の視点を織り交せて	11月27日	20
21		濱田 泰弘	島根県立大学浜田キャンパス	日本の環境問題を考える ：海のごみと核のごみ	12月4日	17
22		豊田 知世	島根県立大学浜田キャンパス	大気汚染と中国の苦闘	12月11日	19
23		沖村 理史	広島市立大学 教授	環境問題の地域比較：アジアと世界	12月18日	19

受講者数 計562人（1講座あたり24名）

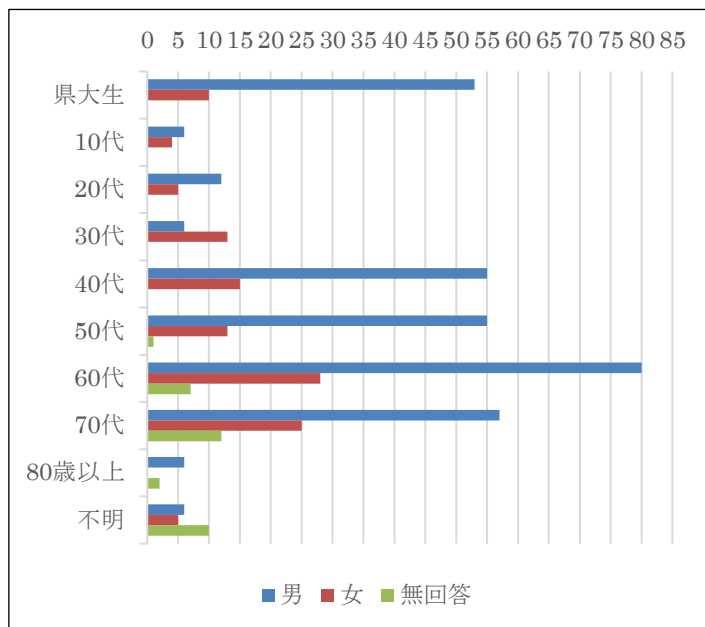
公開講座においても、リピーターの獲得は重要です。下表は、複数回参加している受講者が比較的多いことを示しており、リピーターの確保ができていることがわかります。

表：アンケートに回答した段階での参加回数

1回目	171 名
2回目	64 名
3回目	44 名
4回目	27 名
5回以上	71 名
不明	109 名
合計	486 名

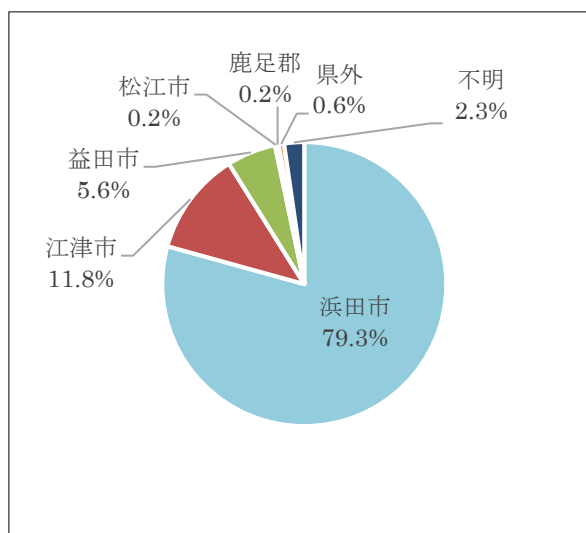
回答者（受講者）の年齢層は本学学生を除き、概ね中高齢者に偏っています。若年層受講の掘り起しが必要であると考えています。

図：回答者の年齢と性別（単位：人）



回答者（受講者）のほとんどは浜田市内に在住する方々です。近年、隣接する江津市及び益田市在住者の参加が増加傾向にあります。それでも7割以上が浜田市の在住者である事から、浜田市内からより多くの参加者を探る必要があると考えています。

図：回答者の居住地（N=486）



公開講座参加者の内、公開講座会員は 47%となっています。なお、昨年度、公開講座会員総数は、240 人でした。

表：公開講座会員登録の有無

有	230 名
無	240 名
不明	16 名

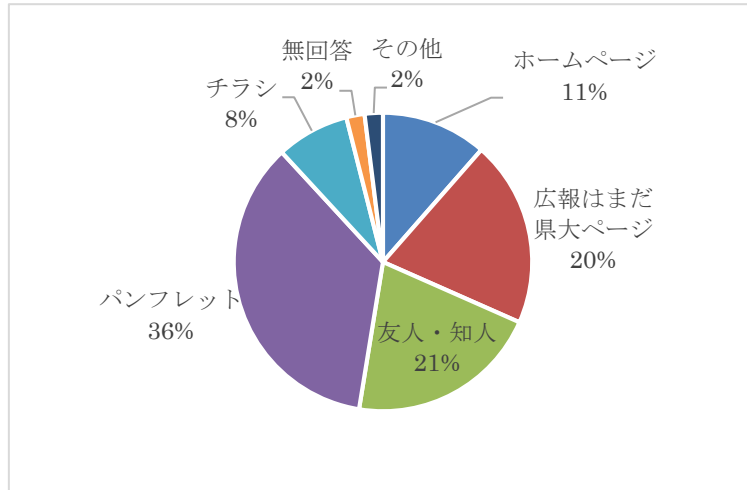
公開講座への参加理由は、「知識を深めたいから」という項目が最も高く、「講師に関心があったから」という項目が続きました。

表：公開講座に出席する理由

① 知識を深めたいから	287 名
② このテーマについて勉強をしているから	43 名
③ 知識を獲得し、仕事や地域活動に活かしたい	89 名
④ 生涯学習として関心があったから	99 名
⑤ 講師に関心があったから	107 名
⑥ 大学主催の行事だから	48 名
⑦ 交友関係を広げたいから	48 名
⑧ 公開講座に出席することが楽しいから	45 名
⑨ その他（テーマに関心があるなど）	24 名

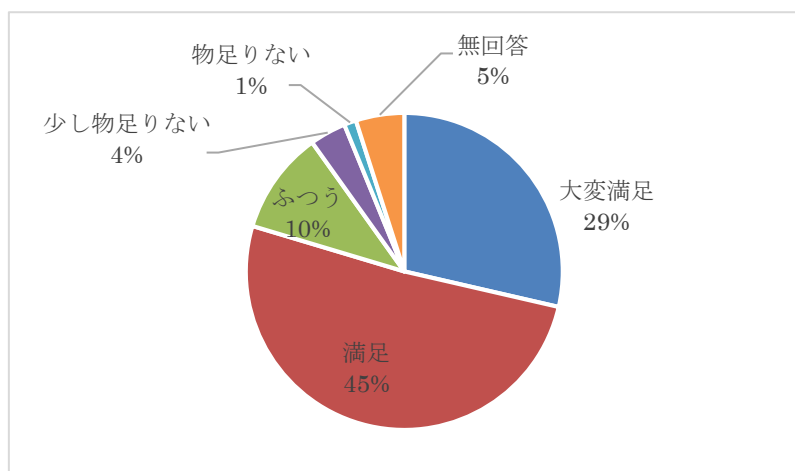
公開講座を知った経緯として、「広報はまだ」又は「パンフレット」並びに「友人・知人」と回答された方が半数に上っています。ホームページ等の電子媒体は依然として低い割合（11%）となっており、受講者の多くが中高年層であることが、一つの要因であると考えられます。

図：公開講座を知った経緯（N=486）



公開講座に参加した方の満足度については、「大変満足」及び「満足」という回答が74%に上り、講座の内容が、受講者の皆様から概ね好評を得ることができた、と考えております。

図：公開講座の満足度（N=486）



## (2) 大学生による小中学校学習支援事業の取り組み

大学生による小中学校学習支援事業は、浜田市内の小中学校に大学生（学習支援員）を派遣し、週1～2回程度、放課後の補習時間に学習指導を実施する事業となっている。この事業は島根県立大学と浜田市との連携協力協定（平成19年5月18日締結）に基づき、学力向上を目的として平成19年度から中学生を対象として開始し、平成24年度からは小学生も対象に含め、実施している。令和元年度は小学校9校、中学校3校の計12校が参加し、延べ456名の学生が従事した。

令和元年度派遣先			
中学校	小学校		
浜田市立第三中学校	浜田市立松原小学校	浜田市立長浜小学校	浜田市立雲城小学校
浜田市立浜田東中学校	浜田市立石見小学校	浜田市立周布小学校	浜田市立今福小学校
浜田市立金城中学校	浜田市立原井小学校	浜田市立国府小学校	浜田市立旭小学校





## ～2019 年度 地域学習支援事業「HAMADA 留学」活動報告～

「HAMADA 留学」は、2018 年冬に浜田公民館の事業としてスタートした学習支援事業であり、2019 年度からは浜田市教育委員会の委託事業となった。

対象は、浜田市立第二中学校の生徒で、浜田キャンパス学生有志の 6 名が運営および自主学習のサポートを行った。浜田公民館の学習室などを開放し、定期テスト前や長期休暇中にサポートを行った。中学生の参加者数は多い時で 20 名を超える日もあり、熱心に定期テストに向けて勉強に取り組んでいた。

「HAMADA 留学」の主な目的は学習支援であるが、学校でも家でもない第 3 の居場所づくりも目的の 1 つであった。「HAMADA 留学」を通して、中学生と大学生が異世代交流をすることができたため、世代間の違いに気づくことができた。また、大学生スタッフは 6 名全員が島根県以外の出身であるため、地域性の違いを知る良い機会となった。さらに、大学生がシフト制のうえ、繰り返し参加する中学生が多かったため、距離を縮めやすい環境であったと考えられる。

事業体制に関しては、大学生も中学生も全学年から満遍なく参加していたことから、継続性のある学習支援事業になったと考えられる。

夏休みの期間に参加者が見込めず開催を取りやめたこともあり、学校側とより連携していくことが今後の課題である。

学内の活動としては、11 月末に実施された 3 キャンパス合同ボランティア交流会にて 3 名の学生が活動報告を行い、「HAMADA 留学」の課題や利点を話し合った。

### 【2019 年度の主な活動】

- 4 月：浜田市教育委員会へ地域学習支援事業として申請
- 5 月：1 学期中間テスト対策自主学習会
- 6 月：1 学期期末テスト対策自主学習会
- 8 月：夏休みの課題追い込み自主学習会→参加者が見込めず開催中止
- 9 月：9 月 25 日付の山陰中央新報に掲載
- 10 月：2 学期中間テスト対策自主学習会
- 11 月：2 学期期末テスト対策自主学習会
- 12 月：冬休み自主学習会①
- 1 月：冬休み自主学習会②
- 2 月：学年末試験対策自主学習会 & 受験対策自主学習会

3月：受験対策自主学習会→新型コロナウイルスの影響により開催中止

(4年生 春若美咲)



### (3) 浜田市立中学校キャリア学習講師

浜田市立第二中学校 (4年生 津田智子参加)

令和元年5月28日(火)、浜田市立第二中学校の3年生に向けてのキャリア学習会が行われた。社会人や大学生が講師となり、どのような経験や考えを持って行動しているのかというテーマで講演が行われた。今回の講師は私の他にも、合同会社式百円 代表社員 森脇香奈江さん、有限会社クボタ牛乳 代表取締役社長 久保田英治さんがおられた。

私は生徒たちと年齢も近いので今後の進路の参考にしてほしいと考え、中学・高校時代からこれまでの学びや後悔、現在の大学生活について話した。また、自分や相手の考え・価値観を大事にしてこれからたくさんの経験を積んでほしいと願いをこめて話し終えた。最後の質疑応答の時間には、受験勉強のことや大学生活で撮った写真の内容について詳しく説明をした。

後日、中学校から生徒たちが書いた感想用紙が届いたので確認すると、自分の話したことがちゃんと伝わっていると分かり、また生徒たちが考えて感想を書いていることも伝わりとても嬉しい送り物だった。

生徒たちに自分の経験を話すのはとても緊張し不安もあったが、先生方が気持ちよく話せる環境を整えてくださった。また、生徒たちも終始熱心に話を聞いてくれて、非常に楽しい時間を過ごすことができた。自分にとっても自分の人生の振り返りや相手にわかりやすい話の構成や内容を考える経験もでき、改めて参加して良かったと感じた。

(4年生 津田智子)



浜田市立第四中学校 (2年生 眞鍋聖位那、3年生 鈴木帆海参加)

令和2年2月12日(水)に浜田市立第四中学校で行われたキャリア学習に講師として参加しました。この学習目的は「自立に向けて今の自分に必要なものは何かを考え、実践しよ

うとする意欲や態度を養う」ことです。中学生を2グループに分け、6人の前で計2回のプレゼンテーションを行いました。話した内容は、今大学で学んでいること、仕事をするうえで必要だと思うこと、社会に出るために意識していること・身につけたいと思っていること、中学時代に身につけてほしいこと・がんばってほしいことなどです。自分自身の中学生時代から現在の大学生活に至るまで、どのようなことに取り組んだり意識したりしているのかを振り返りながら伝えたいことを考えました。私は、国際交流の経験や英語の勉強などを中心に挑戦することの大切さや「ホウレンソウ」の重要性をお話しました。中学生の表情や反応などを見ながらプレゼンテーションをすることは難しいと感じましたが、一方的に話すのではなく「相手に伝える」ということを意識しながらプレゼンテーションをしました。教壇に立ち、プロジェクターを使ってプレゼンテーションすることはあまり慣れていなくて緊張しましたが、生徒の皆さんや先生方が私の方を向いて聞いてくださっていたので、落ち着いて話すことができました。発表後生徒さんとの談笑時間を設けてくださっていました。プレゼンテーションの内容についての質問や大学生活など、多くの質問をしてくれてうれしい気持ちになりました。大学生になってから中学生や中学校の先生と交流する機会はめったになく、新鮮でした。

この経験を通して、自分のこれまでの経験を振り返り、未来を共に担う世代に大学生を代表してキャリア学習で講師をすることはとても貴重で、楽しいなと思いました。また、話したいことや伝えたいことをまとめて分かりやすくプレゼンテーションすることは簡単ではないと思いました。しかし、相手に伝えるためにはどうしたらいいか模索し、発表できたのがよかったです。

今後、この経験が生かせるようにしたいという思いと同時に、中学生の皆さんのキャリア学習に少しでも役立っていただければいいなと思います。

(2年生 眞鍋聖位那)



#### (4) 中学生の島根県立大学訪問

---

##### 益田市立匹見中学校

---

令和元年 6 月 10 日（月）、益田市立匹見中学校の 2 年生 2 名が浜田キャンパスを訪問し、学生と交流を行いました。

##### 【ランチ交流】

はじめにカフェテリアで中学生と一緒に昼食。自分の好きなメニューの食券を購入し、談笑しながらランチを楽しみました。

##### 【学生発表・意見交換】

ランチの後は本学 3 年生の小川直城さんと鈴木帆海さんが中学生に伝えておきたいことや大学生活についての話をしました。

##### 【キャンパス見学】

学生発表の後はキャンパス内の見学を行いました。

匹見中学校の生徒さんからは次のような感想が寄せられました。

- ・ 目的や将来に向けて意志をちゃんともっておられたので私も二人のようになりたいと思いました。（女子生徒）
- ・ 今までお母さんやお父さんがやっていたことを大学生になったらやらないといけなから大変だと思いました。また、大学を選ぶときに一つ絶対にゆずれないものを決めるといいと教えてもらったので大学を選ぶときに参考にしたいです。（女子生徒）

##### 浜田市立三隅中学校

---

令和元年 11 月 28 日（木）、浜田市立三隅中学校の 3 年生 47 名が浜田キャンパスを訪問し、本学学生とも交流しました。

##### 【学生発表】

カフェテリアで昼食を摂った後、本学 3 年生の鈴木帆海さんと 2 年生の高橋智佳さんが中学生に対してお話をしました。大学でどのようなことを学ぶのか、中学生がイメージをしやすいようにお話をしました。



### 【キャンパス見学】

発表の後は 8 班に分かれ、それぞれの班に大学生が入り、自由に施設内の見学を行いました。講堂や中学生には珍しい階段教室で着席し大学を体感しました。



三隅中学校の生徒さんからは次のような感想が寄せられました。

- ・パワーポイントを使った分かりやすいプレゼンや鈴木さんや高橋さんをはじめ、8人の大学生のみなさんのていねいな学校案内などがとても印象に残りました。(男子生徒)
- ・大学生の発表を聞いて、私は高校卒業後に就職という考えでしたが、大学に行って県外の友達を作ったり、自分のやりたいことに向けて勉強を続けたりするのもいいなと思いました。(女子生徒)

## (5) はまだ灯 2019 (令和元年 10 月 26 日開催)

浜田市の安全で安心なまちづくりを目指して、浜田市民と島根県立大学生でつくる市民団体「はまだを明るく照らし隊」が主催し、今年も「はまだ灯」が開催された。「はまだ灯」は 2009 年 10 月に当時島根県立大学 1 回生であった平岡都さんの痛ましい事件を契機として、事件を繰り返させないこと、事件の風化を防ぐことを目的に始まった追悼行事である。事件発生から 10 年目を迎える今年は 8 回目となり、浜田キャンパスの講堂前に約 1,200 個の明かりを灯し、平岡さんへ哀悼の意を表した。当時を知る学生は少なくなったが、地域の方を中心に多くの方々にお越しいただいた。また、企画運営には「はまだを明るく照らし隊」のほかにも多くの学生、地域の方が携わり、地域と学生との繋がり大切さを考える機会になった。

### 【浜田市安全安心まちづくり推進大会】

この大会は 2 年に 1 度、「いのちと安全安心の日」に合わせて浜田キャンパス講堂で開催されている。今回は本学副学長の挨拶やしまね防犯サークル SCOT の活動発表、浜田警察署の講演などが行われ、平岡さんを哀悼するとともに浜田の安全で安心なまちづくりについて意見が交わされた。



### 【青色防犯パトロール隊出動式】

今回は新たな取り組みとして、10 年前の事件を二度と起こさせない、風化させないことを目的に青色防犯パトロール隊の出発式を浜田キャンパスにて行った。隊員は防犯活動に取り組むとともに、参加者は防犯活動への意識を高める機会とした。

### 【はまだ灯 2019】

浜田市長、本学副学長、学生代表、「はまだを明るく照らし隊」の代表が、平岡さんへの哀悼の意を込めた花壇 (Garden of hope) を背に、挨拶を行い、安全安心なまちづくりへの思いを述べられた。また参加者はキャンドルの明かりが灯る中、本学のアカペラサークル Yellow kite や吹奏楽部の演奏に耳を傾けながら、安全安心について考えていた。これからも事件の風化防止活動を続けながら、安全で安心なまちづくりに取り組みたい。

総合政策学部 3 回生 小川 直城

## (6) MAKE DREAM 2019

2019年12月13日（金）に、本学交流センターコンベンションホールにて本学の学生が浜田の地域資源を活用したビジネスプランを提案する島根県立大学浜田を元気にするアイデアコンテスト「MAKE DREAM 2019」最終プレゼンテーションが開催された。

「MAKE DREAM」は、地域の企業や行政などに学生の発案する若者ならではの自由な発想を聞いてもらい、新産業や新事業創出の参考にしてもらう「アイデア提供型」の企画であり、今年で9年連続9回目の開催となる。

同コンテストの運営は主催であるはまだ産業振興機構をはじめ、行政、支援機関の幅広い協力を得て行われている。審査にあたっては、久保田章市浜田市長を審査委員長とし、浜田商工会議所、石央商工会、日本政策金融公庫浜田支店、島根県商工会連合会石見事務所といった各協力機関からトップクラスの方々が審査員として参画した。

コンテストには合計25組からの応募があり、書類選考を通過した上位5組が最終プレゼンを実施した（表）。

その結果、3年の野村良晃さんが発表した、浜田漁港にて釣った魚をその場で調理してもらって食べられる魚釣り教室を開催するプランである「浜田の海の幸を釣って食べるお魚教室」が最優秀賞を受賞した。また、3年の徳山育実さんが発表した「見る！食べる！体験する！五感で味わう浜田納涼船」が優秀賞を、3年の鎌田美香子さんが発表した「カラダの内側から綺麗に Organic Café Passarella」が共感大賞（来場者が最も共感したプランへ投票し、その得票数が最も多いものに対して贈られる）を受賞した。

また今年度は、昨年度のコンテストでの受賞した3年の板坂英莉佳さんの発表も行われた。

表 「MAKE DREAM 2019」最終プレゼンテーション発表者とテーマ（発表順）

氏名	学年	発表テーマ
鎌田美香子 (共感大賞)	3年	カラダの内側から綺麗に Organic Café Passarella
鈴木帆海・伊藤璃子	3年	人と地域の架け橋に～浜田を朝から元気にする～
池田美穂	3年	化粧水 × 日本酒
徳山育実 (優秀賞)	3年	見る！食べる！体験する！五感で味わう浜田納涼船
野村良晃 (最優秀賞)	3年	浜田の海の幸を釣って食べるお魚教室

(教授 久保田典男)



## (7) 高大連携の取り組み

### ●高等学校等との連携協定締結一覧

	学校等	締結年月日
1	島根県立浜田高等学校	2004.11.18
2	島根県立松江商業高等学校・松江市立湖南中学校	2006.11.1
3	島根県立江津高等学校	2007.6.1
4	独立行政法人国立高等専門学校機構松江工業高等専門学校	2017.3.15
5	島根県立隠岐島前高等学校	2019.3.7
6	島根県立平田高等学校	2019.7.19
7	島根県立松江南高等学校	2019.12.17
8	松江市立女子高等学校	2020.1.24
9	学校法人大多和学園(開星高等学校)	2020.1.31
10	島根県立松江農林高等学校(島根県立松江農林高等学校魅力化コンソーシアム)	2020.3.27
11	島根県教育委員会	2019.3.4

(協定期間終了のものは除く)

### ●主な連携(高大連携室)平成31年4月1日～令和2年3月31日

学校等	事業名	実施日 場所	内容
島根県公立高等学校 校長協会 島根県私立高等学校 校長会	島根県内高等学校等 と島根県立大学・島 根県立大学短期大学 部との懇談会	2019.10.4(金) 本学出雲キャン パス	・キャンパスツアー ・島根県立大学の入試改革構想につ いての説明 ・意見交換
隠岐島前高等学校	まちづくり甲子園	2019.7.13(土) ～15(月・祝) 隠岐島前3町村	本学の学生4名が運営サポーターとし て参加。教職員も同行リサーチ。
	東京大学社会科学研 究所 宇野重規教授 による海士町での特 別講演会	2019.9.11(水) 隠岐島前高校	「隠岐島前がもたらす未来の希望」と 題して講演会を実施。高校生のみなら ず地元住民も聴講。
	キャンパス見学ツアー	2019.11.15(金) 本学出雲・松江 キャンパス	キャンパス見学の受入れ(送迎あり) 出雲キャンパス:11名 松江キャンパス:32名
平田高等学校	地域人材育成循環シ ステム「平田プラタナ スプラン」	通年	事業への支援協力 ・コンソーシアム全体会議、実行委員 会、運営指導委員会への参画等。
	講演会(2回)	2019.5.16(木) 平田高校	本学教員2名が講演会を実施。 ※「平田プラタナスプラン」の一環

学校等	事業名	実施日 場所	内容
	平田高校出身本学学生による鈴懸祭プレゼン指導	2019.8.23(金) 平田商工会議所 平田高校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本学学生7名(3キャンパス)が参加。</li> <li>・1、2年生の鈴懸祭プレゼン中間発表に対する指導・助言。</li> <li>・本学学生による平田ダイヤモンド活性化策を高校生に対して発表。</li> <li>・平田商工会議所主催の大学生向けワークショップにも参加。</li> </ul>
	ゼミ見学・地域協働学習成果発表	2019.11.6(水) 本学浜田キャンパス	<p>平田高校生 157 人の本学ゼミ見学の受入れ・高校生による地域協働学習成果の発表及び発表に対する本学学生、教員によるアドバイス。</p> <p>※「平田プラタナスプラン」の一環</p>
	地域協働フォーラム 2019・秋	2019.11.13(水) 平田高校	<p>平田高校が実施した地域協働学習発表及び講演会への本学教職員の参加。</p> <p>※「平田プラタナスプラン」の一環</p>
	地域協働フォーラム 2020・春	2020.3.10(火) 平田高校	<p>[コロナウィルス感染拡大防止のため中止]</p> <p>※「平田プラタナスプラン」の一環</p>
大社高等学校	キャンパス訪問	2019.10.30(水) 本学浜田・出雲・松江キャンパス	<p>高校生による「総合的な学習の時間」で行っている探究活動についての発表及び発表に対する大学生によるアドバイス</p> <p>浜田キャンパス:153名 出雲キャンパス:36名 松江キャンパス:93名</p>
	「総合的な学習の時間」全体発表会	2020.2.4(火) 大社文化プレイス うらら館	<p>探究活動の成果発表の審査員として参加。</p>
出雲高等学校	SSH 事業	通年	<p>3 キャンパスの各教員が高校へ出張講義。</p>
松江南高等学校	地域課題学習発表会	2020.1.30(木) 松江南高校	<p>発表会に本学教員が参加。</p>
浜田高等学校 浜田商業高等学校 浜田水産高等学校	第3回高校政策甲子園	2019.10.20(日) 島根県立大学交流センター	<p>(主催)一般社団法人浜田青年会議所</p> <p>学長が審査員として参加、また、政策立案において本学学生も協力</p>

## (8) NEAR センター市民研究員制度

---

日本海をはさんで北東アジア地域に接する島根県とその周辺には、さまざまな視点からこの地域に強い興味を抱き、それぞれに知識をたくわえている方がいます。島根県立大学北東アジア地域研究センター（NEAR センター）では、日本を含む北東アジア地域の研究に強い興味を持っているキャンパス外の方々に、NEAR センターの市民研究員として共に研究していただく「NEAR センター市民研究員制度」を平成 18 年度に創設しました。

市民研究員はNEARセンターに所属し、研究会等への参画を通じて自らの興味関心に基づく研究活動に取り組むほか、研究テーマで意気投合した本学の大学院生と研究計画書を練り上げ、学内審査のうえ研究助成を受けて共同研究を行う等、大学院生の研究に刺激を与えていただいています。

また、NEARセンター研究員（本学教員等で構成）は、「NEARセンター・アカデミック・サロン」に登壇し、専門研究分野の最前線を市民研究員向けにわかりやすく解説する等、市民研究員制度を通じた地域への「知」の還元を心がけています。

<令和元年度における成果>

### 1. 研究会

市民研究員自らの企画により次の研究会を開催しました。

#### ○第 1 回 NEAR センター市民研究員研究会

日時：令和元年 7 月 13 日（土）13:00～15:30

場所：島根県立大学浜田キャンパス 講義・研究棟 1 階 中講義室 1

内容：第 1 部：(1) NEAR センター・アカデミック・サロン

有限会社山本粉炭工業社長・山本明男氏

「粉炭で人間と自然の共生システムの創造を

～森林の恵みを賢く利活用して豊かな社会構築へ～」

案内：福原孝浩市民研究員

(2) 「大学院生と市民研究員の共同研究」 審査結果発表と講評

第 2 部：市民研究員による研究報告

(1) 森須和男（市民研究員）

「国際探偵佐田繁治について」

(2) グループ・リサーチ・サロン 今年度の取り組み紹介

・「環境」グループ

・「日朝研究」グループ

○第2回 NEAR センター市民研究員研究会

日時：令和元年 11 月 23 日（土）13:00～16:30

場所：島根県立大学浜田キャンパス 講義・研究棟 1 階 中講義室 3

内容：（1）NEAR センターアカデミックサロン

佐藤壮教授、豊田知世准教授

（2）「大学院生と市民研究員の共同研究」中間報告

・陳其柔（大学院生）・趙冰（市民研究員）

「留学生の視点から考える多文化共生政策——島根県の中国人留学生の異文化適応をめぐって」

・何桂蘭（大学院生）・岡崎秀紀（市民研究員）

「中国・内モンゴル自治区興安盟地域におけるトリリンガル教育に含まれるモンゴル語教育の持つ意義について——特にモンゴル語保持との関連から」



▲研究会の様子

## 2. 研究発表等

年度内に3回開催する市民研究員全体会の一環として毎年度行っている「市民研究員研究発表会」を次のとおり開催しました。例年3月に実施している市民研究員と大学院生の共同研究成果報告については新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催を取りやめ、次年度開催の予定としています。

○令和元年度 市民研究員研究発表会

日時：令和2年1月25日(土) 13:00～15:30

場所：島根県立大学浜田キャンパス 交流センター1階 研修室

内容：市民研究員による研究報告・発表

(1) 田中文也（市民研究員）「2019年度の新規研究事項」

(2) 岡崎秀紀（市民研究員）「研究ノートから；チベット探検家A. D. ネールと  
河口慧海との出会いについて」

(3) 中山正（市民研究員）「生命の繋がりの中で生きる」



▲全体会の様子

## (9) 講演会講師等・審査会委員等

### ◇講演会講師等

教員名	依頼元	名称	期間
清原 正義	島根県日韓親善協会連合会	島根日韓親善協会連合会総会での講演	R1. 7. 4
井上 厚史	島根県社会福祉協議会	くにびき学園講師	R1. 6. 28
井上 治	島根県社会福祉協議会	くにびき学園講師	R2. 1. 17
李 暁東	国際日本文化センター	比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想・王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼	H31. 4. 1～R2. 3. 31
藤原 眞砂	島根県立石見高等看護学院	非常勤講師「社会学」	R1. 9. 6～R1. 10. 4
藤原 眞砂	放送大学島根学習センター	非常勤講師	R1. 10. 1～R2. 3. 31
藤原 眞砂	浜田市健康福祉部子育て支援課	行政職員等を対象に開催する「浜田市の子育て期の女性の仕事と生活調査」についての報告会講師	R2. 1. 31
久保田 典男	法政大学	プロジェクト兼任講師（論文指導）	H31. 4. 1～R2. 3. 31
久保田 典男	日本海信用金庫	「せがれ塾」第9期生セミナー講師	R1. 6. 3/R1. 8. 6 R1. 10. 4/R1. 12. 6
久保田 典男	平田高校	高校2年生「ファン人口・交流人口の増加策」の講演講師	R1. 5. 16
張 忠任	国立病院機構浜田医療センター 附属看護学校	非常勤講師「情報科学演習」	R1. 6. 1～R1. 7. 31
陳 仲奇	国立病院機構浜田医療センター 附属看護学校	非常勤講師「倫理学」	R1. 5. 1～R1. 6. 30
八田 典子	島根県社会福祉協議会	くにびき学園講師	R1. 10. 18
福原 裕二	広島大学	客員教授教養科目「戦争と平和に関する学際的考察」	R1. 6. 11～R1. 8. 7
別枝 行夫	島根県	市町村若手職員の政策形成力育成セミナーの講師	R1. 6. 27～R1. 6. 28
光延 忠彦	㈱メディアスコープ	第25回参議院議員通常選挙における島根県明るい選挙推進大会講師	R1. 6. 24
姜 英淑	人間文化研究機構 国立国語研究所	国立国語研究所共同研究PJ「対象言語学の観点から見た日本語の音声と文法」へ共同研究員として参画	H31. 4. 26～R2. 3. 31
金野 和弘	大阪市立大学	非常勤講師「データマイニング」	H31. 4. 1～R1. 9. 30
西藤 真一	関西外国語大学	非常勤講師「エアポート・ビジネス」	H31. 4. 1～R2. 3. 20
西藤 真一	福島県	福島空港に関する有識者会議委員	H30. 10. 26～R2. 3. 31
西藤 真一	川本町	弓市地区魅力化検討委員	H31. 4. 1～R3. 3. 31
西藤 真一	浜田市	浜田市ボランティアセンター運営委員	H31. 4. 1～R3. 3. 31
西藤 真一	浜田市	浜田歴史資料館検討会	H31. 4. 1～R1. 7. 31
西藤 真一	浜田市	浜田市協議体 第1層委員	R1. 5. 1～R3. 3. 31
西藤 真一	国土交通省	広島空港優先交渉権者選定に係る審査委員会委員	R1. 6. 21～R2. 6. 30
西藤 真一	島根県土木部道路建設課	島根県道路懇談会委員	R1. 10. 1～R2. 7. 31
西藤 真一	浜田県土整備事務所	有福温泉工区道路改良事業に係る有福温泉活性化検討委員会	R1. 11. 11～R2. 3. 31

西藤 真一	浜田県土整備事務所	令和元年度浜田・江津地域づくり調整会議のオブザーバー	R2. 1. 31～R2. 3. 31
西藤 真一	岡山県	空港づくり基本構想検討委員会 非常勤委員	R2. 3. 27～R3. 3. 31
鄭 世桓	広島修道大学	韓国・朝鮮語	H31. 4. 1～R2. 3. 31
豊田 知世	浜田青年会議所	浜田青年会議所会員を対象として開催する講演会の講師	R1. 7. 22
ヘネベリー・スティーヴン	国立病院機構浜田医療センター 附属看護学校	非常勤講師「英会話」	H31. 4. 1～R2. 3. 31
ヘネベリー・スティーヴン	島根県立石見高等看護学院	非常勤講師「看護英語」	R1. 7. 9～R1. 12. 10
松尾 哲也	北九州市立大学	非常勤講師「現代政治論Ⅰ」	H31 夏季
松尾 哲也	公益財団法人ふるさと島根定住財団	第2回キャリア・アドバイザー研修の講師	R2. 1. 30
大室メリッサハントリー	江津中学校	江津市教研英語部会ワークショップ	R1. 12. 7
大室メリッサハントリー	島根県教育庁教育指導課	外国語指導助手の指導力向上研修	R1. 11. 8
孟 達来	和光大学	非常勤講師「現代社会学」	H31. 4. 1～R2. 3. 31
田中 典枝	ラ・ペアーレ浜田	カルチャー教室講師	H31. 4. 1～R2. 3. 31
田中 典枝	浜田市立美川公民館	美川英会話教室講師	R1. 11. 2
河部 安男	文部科学省 国立教育政策研究所	平成31年度全国生涯学習センター等研究交流会の講師	H1. 5. 24
大畑 直子	島根県立島根中央高校	非常勤講師（英語）	H31. 4. 2～R2. 3. 31

#### ◇審査会委員等

氏名	発令元	名称	期間
清原 正義	吉林省翻訳協会	吉林省翻訳協会海外理事	H30. 4. 1～R5. 3. 31
清原 正義	大田市	難波利三・ふるさと文芸賞審査会 非常勤審査委員	R1. 11. 7
清原 正義	大阪教育大学	大阪教育大学への提言委員会委員	H30. 12. 1～R2. 11. 30
井上 厚史	浜田国際交流協会	浜田国際交流協会理事	H31. 4. 1～R2. 3. 31
林 秀司	島根県農林水産部農業経営課	島根県中山間地域等振興対策検討会非常勤の検討委員	H31. 1. 8～R3. 1. 7
林 秀司	島根県土木部河川課	島根県河川整備計画検討委員会委員	H30. 4. 1～R2. 3. 31
林 秀司	浜田市	浜田市総合振興計画審議委員	H30. 7. 1～R2. 3. 31
林 秀司	益田市	益田市景観審議会委員非常勤の審査委員	H31. 1. 8～R3. 1. 7
林 秀司	公益法人しまね海洋館	しまね海洋館理事	R1. 6. 26～R2. 3. 31
林 秀司	島根県土木部都市計画課	島根県景観審議会委員	R2. 2. 1～R4. 1. 31
林 秀司	島根県	河川整備基本方針及び河川整備計画等について審議する非常勤の審議委員	R2. 3. 30～R4. 3. 31
藤原 眞砂	益田市	益田市総合戦略審議会 非常勤の委員	H31. 4. 1～R2. 3. 31
藤原 眞砂	大田市都市計画課	大田市空家等対策協議会 空家等に関する協議を行う非常勤の委員	H30. 5. 1～R2. 3. 31
藤原 眞砂	益田市政策企画局政策企画課	第6次益田市総合振興計画審議会委員	R2. 2. 1～R3. 3. 31
藤原 眞砂	浜田市	第4次浜田市都市計画審議会委員	H30. 9. 1～R4. 8. 31

藤原 眞砂	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	江の川河川整備アドバイザー会議委員	R2. 2. 27～R2. 3. 31
藤原 眞砂	浜田市水産振興課	浜田漁港周辺エリア活性化検討委員会委員	H31. 1. 10～R2. 3. 31
藤原 眞砂	国土交通省中国地方整備局	中国地方整備局事業評価監視委員会	就任日～R2. 3. 31
岩本 浩史	中国地方整備局	中国地方整備局道路協力団体指定委員会	H28. 12. 27～R1. 12. 26
岩本 浩史	美郷町	美郷町情報情報公開審査委員会(会長)、美郷町個人情報保護審査委員(会長)、美郷町個人情報保護審議会委員(会長)	H31. 2. 1～R3. 1. 31
岩本 浩史	浜田市総務課法令文書係	浜田市情報公開審査会 非常勤委員	H29. 10. 1～R1. 9. 30
岩本 浩史	浜田市	浜田市行政不服審査会委員	H31. 4. 1～R4. 3. 31
岩本 浩史	浜田市	浜田市情報公開審査会/浜田市個人情報保護審査会/浜田市個人情報保護審議会	R1. 10. 1～R3. 9. 30
岩本 浩史	大田市役所総務課法令係	大田市情報公開審査委員、個人情報公開審査委員、行政不服審査会委員	H29. 10. 30～R2. 10. 29
岩本 浩史	益田市	益田市個人情報保護運営審議会委員	R1. 10. 2～R3. 10. 1
岩本 浩史	国土交通省中国地方整備局三次河川国道事務所	江の川河川整備アドバイザー会議委員	R2. 2. 21～R2. 3. 31
久保田 典男	島根県雇用政策課	島根県雇用対策審議会委員	R1. 11. 1～R3. 10. 31
久保田 典男	NPO 法人石見銀山協働会議	石見銀山基金事業公開審査会等委員	R1. 6. 1～R4. 3. 31
久保田 典男	島根県	島根県芸術文化センター指定管理業務評価委員	H28. 6. 24～R2. 5. 31
久保田 典男	(公団) ふるさと島根定住財団	公益財団法人ふるさと島根定住財団理事(非常勤)	R1. 6. 1～R3. 6. 30
久保田 典男	島根県商工労働部産業振興課	しまね地域産業活性化協議会委員	H29. 6. 15～R2. 3. 31
久保田 典男	島根県商工労働部	島根県中小企業・小規模企業振興推進協議会	R1. 11. 15～R2. 3. 31
久保田 典男	島根県商工労働部中小企業課	島根県事業承継実態調査アドバイザー	R2. 1. 6～R2. 3. 31
久保田 典男	中国地方整備局(広島)	中国地方国際物流戦略チームの有識者委員会	R1. 6. 7～R3. 3. 31
久保田 典男	大田市	大田市総合計画・総合戦略等推進会議委員	R1. 8. 16～R3. 3. 31
久保田 典男	大田市	大田市仁摩地区道の駅整備推進委員会	H30. 4～R2. 3
久保田 典男	はまだ産業振興機構	アイデアコンテスト「MAKE DREAM2019」コーディネーター	R1. 5. 15～R2. 3. 31
久保田 典男	(公財) 中国地域創造研究センター	中国地域における地域商社機能のあり方に関する調査 委員長	H31. 4. 1～R2. 3. 31
久保田 典男	浜田市	浜田市指定管理者選定委員会	H30. 7. 9～R2. 7. 10
久保田 典男	江津市役所	江津市まち・ひと・しごと創生総合政策審議会委員	H30. 7. 1～R2. 6. 30
久保田 典男	江津市	江津市総合計画審議会	R1. 10. 2～R2. 3. 31
久保田 典男	益田市	協働のまちづくり推進条例(仮称)検討委員会委員	R1. 7. 1～R2. 3. 31
久保田 典男	益田市商工会議所	益田発! ビジネスプランコンテストの最終選考会審査員	R2. 1. 28
久保田 典男	島根県商工会連合会	第10回島根県経営指導員等研修会	R1. 11. 1
赤坂 一念	島根県教育委員会	島根県立出雲高等学校SSH運営指導委員会運営指導委員	H31. 4. 25～R5. 3. 31



赤坂 一念	江津市都市計画課	江津市都市計画審議会非常勤委員	R1. 12. 11～R3. 12. 11
赤坂 一念	島根県益田翔陽高等学校	令和元年度島根県総合学科発表会の審査委員	R2. 2. 6
江口 真理子	島根県高等学校英語教育研究会	高校生英語スピーチコンテストにおける審査委員長	R1. 9. 10
川中 淳子	島根県教育委員会	島根県総合教育審議会委員	H30. 8. 9～R2. 8. 8
八田 典子	浜田市	浜田市景観審議会委員	R1. 5. 1～R3. 4. 30
八田 典子	江津市都市計画課	江津市景観審議会 景観形成に関する事項について審議を行う非常勤の委員	H30. 2. 20～R2. 2. 20
八田 典子	島根県芸術文化センター	島根県芸術文化センター協議会委員 センター運営に関する審議を行う非常勤の審議委員	H30. 3. 1～R4. 2. 28
八田 典子	島根県	しまね景観賞審査委員	H31. 4. 5～R3. 3. 31
八田 典子	島根県教育庁文化財課	島根県立古代出雲歴史博物館協議会委員 (非常勤)	H30. 7. 21～R2. 7. 20
福原 裕二	北海道大学スラブ・ユーラシア研究 C 長	北海道大学スラブ・ユーラシア研究 C 境界研究共同研究員	R2. 3. 31～R4. 3. 31
光延 忠彦	浜田市	浜田市行財政改革推進委員会	H31. 3. 31～R3. 2. 28
光延 忠彦	浜田市	浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会委員	R1. 11. 1～R3. 3. 31
光延 忠彦	全国健康保険協会島根支部	全国健康保険協会島根支部評議会評議員 (非常勤)	H30. 11. 1～R2. 10. 31
光延 忠彦	益田市	益田市行財政改革審議会 行政経営に関する審議を行う非常勤の審議委員	H30. 3. 1～R4. 2. 28
光延 忠彦	島根県選挙管理委員会事務局	島根県明るい選挙推進協議会委員	R2. 3. 15～R3. 5. 31
村山 誠	島根県	島根県雇用対策推進会議委員	R1. 6. 1～R1. 10. 31
村山 誠	益田市	益田市水道料金審議会委員	H31. 1. 1～R1. 7. 31
岡本 寛	公益財団法人しまね女性センター	公益財団法人しまね女性センターの運営に関する審議を行う非常勤の評議員	H29. 7. 1～R3. 6. 30
岡本 寛	浜田市総務課法令文書係	浜田市情報公開審査会 非常勤委員	H29. 10. 1～R1. 9. 30
岡本 寛	浜田市	浜田市情報公開審査会/浜田市個人情報保護審査会/浜田市個人情報保護審議会	R1. 10. 1～R3. 9. 30
岡本 寛	浜田市	浜田市行政不服審査会委員	H31. 4. 1～R4. 3. 31
岡本 寛	益田市総務部総務管財課	益田市行政不服審査会委員	H30. 4. 1～R2. 3. 31
岡本 寛	益田市総務部総務管財課	益田市行政情報不服審査会委員	H30. 5. 14～R2. 5. 13
岡本 寛	津和野	行政不服審査会委員	R1. 8. 1～R2. 3. 31
金野 和弘	島根県	島根県県民いきいき活動推進委員会委員	H31. 4. 17～R3. 3. 31
金野 和弘	浜田市	浜田市まちづくり総合交付金課題解決特別事業選考委員会委員	R1. 8. 24～R3. 3. 31
齋藤 暁子	島根県商工労働部商工政策課	島根県商工労働部指定管理業務評価委員	H29. 7. 1～R2. 3. 31
齋藤 暁子	浜田市	浜田市子ども・子育て支援専門部会	H30. 10. 15～R2. 3. 31
齋藤 暁子	浜田市教育委員会	浜田市学校統合計画審議会委員	委託日～R1. 5. 23
齋藤 暁子	浜田市地域福祉課	浜田市保健医療福祉協議会非常勤の審査委員	就任日～R2. 3. 31
齋藤 暁子	RUN 伴はまだ	RUN 伴はまだ実行委員	R1. 5. 22～R1. 11. 13

西藤 真一	福島県	福島空港に関する有識者会議委員	H30.10.26～R2.3.31
鈴木 遵也	社会福祉法人島根県社会福祉協議会	島根県高齢者大学校実務検討委員会（非常勤）	H30.12.1～R1.8.31
鈴木 遵也	浜田市役所上下水道部管理課	浜田市水道事業審議会委員	H31.4.1～R3.3.31
鈴木 遵也	EBPM 研究所	リサーチフェロー	R1.5.7～R3.3.31
田中 恭子	島根県土木部用地対策課	島根県事業認定審議会 非常勤審議委員	H29.9.20～R2.9.19
田中 恭子	島根県中山間地域研究センター	島根県中山間地域研究センター運営協議会研究課題評価専門委員会委員	R1.11.11～R2.3.31
田中 恭子	島根県	島根県職業能力開発審議会委員	H29.11.1～R1.10.31
寺田 哲志	島根県	島根県公共事業再評価委員	R1.7.1～R2.10.31
豊田 知世	浜田市	浜田市環境清掃対策審議会委員	2018.4.1～2020.3.31
豊田 知世	浜田市	浜田市行財政改革推進委員会委員	H31.3.1～R3.2.28
豊田 知世	島根県土木部技術管理課	島根県公共事業再評価委員会委員	H31.4.1～R2.3.31
豊田 知世	島根県環境生活部環境政策課	しまね環境アドバイザー	H31.4.1～R3.3.31
豊田 知世	浜田県土	いわみインフラツーリズムガイドマップ（仮称）戦略会議のアドバイザー	R1.8.19～R2.3.31
豊田 知世	島根県都市計画課	島根県都市計画審議会委員	H30.2.1～R2.1.31
豊田 知世	島根県都市計画課	島根県都市計画審議会委員	R2.2.1～R4.1.31
豊田 知世	浜田市地球温暖化対策地域協議会	浜田市地球温暖化対策地域協議会委員	H30.4.1～R2.3.31
豊田 知世	浜田市上下水道部管理課	浜田市水道事業審議会委員	H31.4.1～R3.3.31
豊田 知世	日本学術会議事務局	環境学委員会環境思想・環境教育分科会環境教育の思想的アプローチ検討小委員会委員	H30.6.28～R2.9.30
豊田 知世	大田市	大田市公共施設適正化推進委員会非常勤委員	H30.7.31～R2.3.31
豊田 知世	はまだ産業振興機構	アイデアコンテスト「MAKE DREAM2019」最終審査員等	R1.12.13
豊田 知世	島根県	島根県固定資産評価審議会委員（非常勤）	H30.12.15～R2.12.14
豊田 知世	浜田市	浜田歴史資料館検討会	H31.4.1～R1.7.31
豊田 知世	浜田市	浜田市特別報酬等審議会委員	令和元年度
豊田 知世	島根県中山間地域研究センター	島根県中山間地域研究センター運営協議会委員	R2.2.26～R3.3.31
豊田 知世	京都大学経済研究所	京都大学経済研究所プロジェクト研究代表者	H31.4.1～R2.3.31
豊田 知世	（一社）持続可能な地域社会総合研究所	地域経済循環研究プロジェクト共同研究者（非常勤）	R1.6.1～R2.3.31
豊田 知世	（一社）持続可能な地域社会総合研究所	阿武町「地元学&21世紀の石高調査」共同研究者	R1.6.1～R2.3.31
松田 善臣	大田市政策企画部まちづくり定住課	大田市地域公共交通協議会	R2.2.17～R2.3.31
村井 重樹	（一財）地域・教育魅力化プラットフォーム	島根マイプロジェクト summit 大会審査評価委員	R2.2.8
李 憲	島根県	島根県消費生活審議会委員	H30.7.27～R2.7.26
松尾 紳次	一般財団法人島根県教職員互助会	一般財団法人島根県教職員互助会評議員	H30.4～R3
松尾 紳次	島根県教育庁	島根県立浜田高等学校学校評議員	R1.5.1～R2.3.31

河部 安男	公益財団法人しまね女性センター	非常勤の理事	R1. 6. 1～R3. 6. 30
石倉 義生	はまだ産業振興機構	アイデアコンテスト「MAKE DREAM2019」1 次審査員及び調査	R1. 5. 15～R2. 3. 31

---

令和元年度 地域連携活動報告書 浜田キャンパス版

---

編集・発行

島根県立大学 地域連携推進センター

〒697-0016 島根県浜田市野原町 2433-2

TEL : 0855-25-9063 FAX : 0855-24-2387

E-mail : h-renkei@u-shimane.ac.jp



マスコットキャラクター  
「オロリン」



The University of Shimane